

霧島ホールディングス株式会社 様

創業100年を迎え、焼酎売上No.1企業の 更なるビジネス拡大に向けた終わりなき 挑戦を支える会計システム

「黒霧島」、「赤霧島」など、数多くの焼酎ブランドを有し、「品質をときめきに」を企業スローガンとして、常に納得のいく最高の品質を追求した製品を提供し、成長を続ける霧島酒造様。2010年に将来を見据え、継続的なビジネスの拡大にも対応できる会計システムとして、「ProActive E²」を採用。新システム導入の決め手は何だったのか?その導入効果を含めて、紐解いていく。



User's Profile



霧島ホールディングス株式会社
霧島酒造株式会社

創業:大正5年5月

売上高:650億円(2016年3月期連結)

従業員数:540名(2016年3月現在)

事業内容:

- 酒類の製造および販売
- レストラン事業



管理本部
部長
堀之内 宏俊 氏



管理本部
経理法務課
課長
今村 恵子 氏

導入の背景

最新アーキテクチャーへの対応をきっかけに、ビジネスの拡大、業務効率の向上を実現する新システムの検討へ。

霧島酒造では、以下にある現状の課題を踏まえ、業務処理の分散入力の実現や、最新のアーキテクチャーへの対応という要件を満たす、新たなシステムが必要であると判断し、新会計システムの導入検討を開始しました。

- 課題**
- 1 事業の成長に伴い、事務作業に掛かる業務負荷が増大していたこと
 - 2 管理会計の強化に向け、多面的なセグメント別にデータを管理しなかったこと
 - 3 最新のITインフラに対応できておらず、セキュリティ面における不安があったこと

選定のポイント

要件を満たす豊富かつ柔軟な機能と最新のIT環境への対応を評価。新会計システムは「ProActive E²」に決定。

新システム選定のポイント

- 標準機能で霧島酒造の業務要件を満たすことができるため、今後の制度改正やITの進歩にも追従でき、永く利用できるシステムであること
- 多様なセグメント管理が可能であり、意思決定を行う上で重要となる各種セグメント別での会計情報の把握及び迅速な意思決定が可能になり、管理会計が強化できること
- 本社でのシステムの集中管理を実現でき、機能強化やITインフラ(OS、ミドルウェア)への対応など、システムメンテナンスの負荷を大幅に軽減できること
- 直感的に入力できる画面構成やマウスレス操作が可能など、入力担当者から高い評価を得る操作性を有していたこと

導入後の評価

システム導入前の課題を解決。加えて、内部統制の強化、経営情報の把握スピードアップといった導入効果を発揮。

本番稼動から6年目を迎えた「ProActive E²」は、導入効果を発揮している。

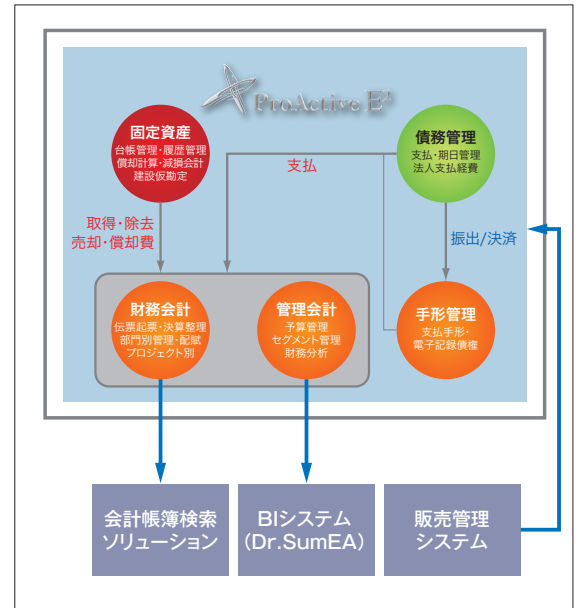
まず1つ目は、「変化に強く、永く利用できるシステム」の実現がある。

2010年4月の本番稼動以降、消費税改正などの法改正や、メガバンクの統合、稼働環境の進化があったが、SCSKから提供されるパッチプログラムを適用しタイムリーに対応できている。またバージョンアップを実施しており、環境変化への追従と機能強化の恩恵を受けているという。2点目の効果は、管理会計の強化という観点では、日々の実績データはリアルタイムに集計されているため、必要ときに、すぐセグメント別の会計情報を把握できるようになった。特に導入当時は、県外への販路拡大を進めているタイミングであったため、事業別の数字に加え、地域別などのセグメントを把握し、地域別の状況をつぶさに確認でき、迅速な意思決定を支援することができたという。現在も、プロジェクト別、部門別など、多面的にデータを管理し、意思決定に役立っている。

なお、継続的な事業拡大を続けている中、「業務処理のボリュームも200%増加していますが、以前のシステムと異なり、支払依頼の分散入力や、自動仕訳など、経理部門だけに業務が集中することがないため、従来とほぼ同等の時間で対応することができており、月次決算も6日で完了しています」と経理法務課課長の今村氏は効果を語る。

3点目として、多くの固定資産を保有しているが、現物の写真を棚卸台帳と合わせて管理できるようになったことにより、棚卸時の現物確認など、固定資産の管理業務の効率化を実現した。

そして、最後の効果は、システム管理負荷の軽減を実現したことである。以前のシステムは、拠点ごとにサーバが設置されていた。そのため、法改正対応などのシステムメンテナンス時は、サーバを設置している全ての拠点を回らなくてはならなかった。「ProActive E²」を導入したことで、Webシステムであることと、処理能力の向上により、会計システムは本社での集中管理へと切り替わった。これにより、システムメンテナンスの時間は、大幅に短縮され、システム部門の生産性向上につながっている。



▲システム概要図

User's Voice | 霧島酒造株式会社 堀之内 宏俊 様

「昨今の焼酎ブームも追い風となり、急速な事業拡大を続けておりますが、その事業の拡大スピードに対して、旧システムでは事務作業の効率化を行うことが難しいなど、新たな課題への対応が急務となりました。いくつかのERPパッケージを検討し、標準機能が弊社の業務要件を満たし、また、短期間で導入できることから、その当時「ProActive E²」を採用しましたが、今日まで利用を続けることで我々にとって最適なシステムを選定できたと実感しております。管理会計強化だけでなく、ワークフロー機能により伝票承認のスピードが向上

したと、重要情報を扱う会計システムとしてのセキュリティを高めることができたなど、当初の想定通り、業務効率の改善と安全なシステム運用を実現できました。現在、霧島ホールディングスと霧島酒造の2社でProActiveを利用しグループ内におけるガバナンスの強化を図っております。そのため、「ProActive E²」には、10年、20年経っても、当社グループを支え、進化を続けていくシステムとなってくれることに期待しています。」



代表的な導入効果

- 多面的なセグメント管理ができるため、必要なメッシュで見たいときに最新の情報を把握することで、迅速な意思決定を支援
- 事業拡大により業務量が200%増加したが、月次決算は、従来とほぼ同等の6日で完了
- システムメンテナンスの時間が、大幅に短縮され、システム部門の生産性向上を実現

●お問合せ先

SCSK SCSK株式会社

SCSK カスタマーセンター

☎ 0800-500-4000 (無料) 受付時間 / 月～金 9:00～18:00 (祝日、年末年始、当社指定日を除く)

●携帯電話でのお問い合わせTEL:03-6670-2990

ProActiveWebサイト: <http://proactive.jp/> E-mail : proactive@ml.scsk.jp